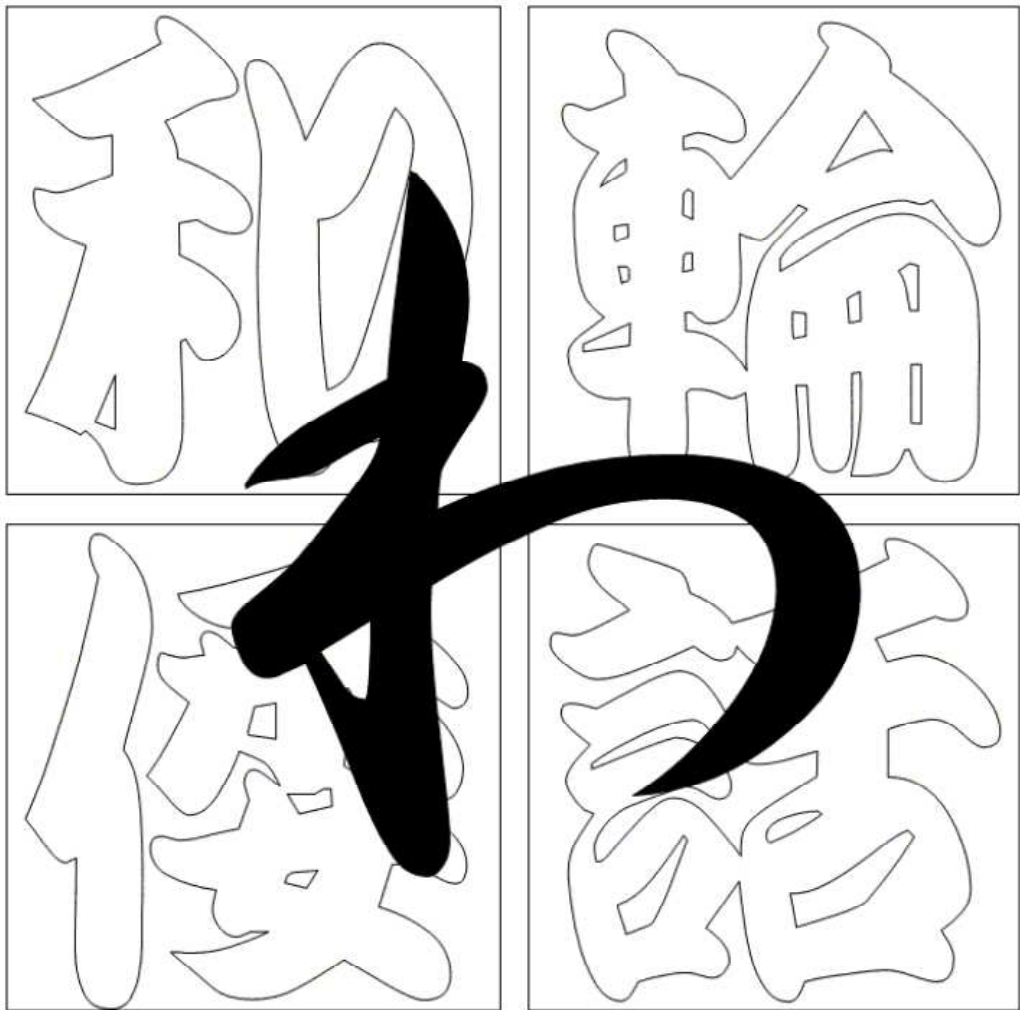


金沢区生涯学習“わ”の会

会 報 第 7 号

(2003年11月)



県立金沢文庫の「称名寺の美術工芸」展が過日開催されました。展示品の中に「西王母図」という掛軸が目にとまりました。大橋新太郎さんが昭和3年に称名寺へ寄進したもので、紙本墨画淡彩図です。この図を見たら表千家の知人を思い出しました。そこで少し西王母図について調べてみました。

この図では、頭の頂に^{もとどり}髻があり、髪が腰あたりまで下がり、右手の爪は長く伸び、盆の上には桃と香炉が見られます。中国奥地の崑崙山に住む仙女だけあって、どこか不気味な感じのする図柄です。

しかし、表千家の先生はそんなに不気味ではありません。念のため。

ところが、「平凡社版 中国の古典シリーズ4」の409頁にある神仙伝によると^ま麻姑という人物が出てきます。その中で麻姑は「それは若くて美しい女の人で、年頃は18・9、頭の頂を髻に結び、残りの髪は腰まで垂らしている。その衣服には模様があつて、金襴ではないが、目もあやに輝き、なんとも名状しがたいばかりであつた」「麻姑は鳥のような爪をしていた」という個所が出てきました。

そうすると、展示品の解説は西王母ではなく麻姑ではないか、などと思い県立金沢文庫の学芸員に面会しました。事情を説明したものの、結局よくわかりませんでした。その後西王母についての資料が目につくようになったので、その2、3を紹介します。

①「西遊記 上」第5回「蟠桃を乱して大聖、丹を愉み天宮に反きて諸神、怪を捉う」の個所で、「一日、西王母が宝閣を開放して宴席を設け、瑤池で蟠桃大会を催すことになった」(43頁)

② 鎌倉の鶴岡文庫に「冷泉家の年中行事」{(財)冷泉家時雨亭文庫監修朝日新聞社 1987. 7}という資料があります。桃の節句になると冷泉家では、床飾りとして床の間の中央に西王母、左右に桃の花と桃の実が描かれている狩野栄川(1730-1790)筆の三幅対を掛けます。また冷泉家には、西王母の御所人形があつて、この人形は高さ56センチ、着せ替で、唐風の衣装と団扇を持った姿をしています。さらにこの資料には床の花入れに桃の花、床には左に桃の実、右に西王母(右手に団扇を持っている)の掛け軸を掛けた写真(59頁)が出ています。

③「身边図像学入門—大黒からヴィーナスまで—岡泰正著 2000年3月朝日選 646」の126頁には、司馬江漢「西王母図」天明初年とされる図(写真)が載っています。この写真では、「西王母図」の横に、手に桃を持った東方朔と称する不老不死の子供が描かれており、しかもこの東方朔は実在の人物だと描か

れています。この図は私はまだ確認しておりません。

このように書いてくると、岡山県の白桃を思い出し、食べてみたくなりました。しかし食べたらずれくらい長生きするか判りませんが、桃を食べればこれからもうずっと「寺社めぐり」が続けて行かれること請け合いです。

鎌倉俳句寺社巡り（その1）

北野 清市

第1回 テーマ「中世の鎌倉の歴史」

H15.06.12 曇りのち雨

午前中金沢地区センターにおいて鎌倉シルバーボランティアガイド協会会員による「中世の鎌倉の歴史」の講義。なお、鎌倉には現在 86 寺 36 社があるという。午後は“わ”の会の「寺社を巡る会」分科会代表の関 祥以下 20 数人の会員が、途中から降り出した五月雨を衝いて、鎌倉古道の朝比奈峠越えに挑む。

六浦より朝比奈越えや梅雨じめり
一本の石竹と越ゆ切通し
道をしへ茶屋に鎌倉案内図

北野 清市（以下同じ）

先達(俳人)の当季雑詠

武者馳せし鎌倉七道滴れり
谷の名の多き鎌倉夏つばめ
梅雨冷の風が吹き込む十六井
鎌倉に雨美しき車輪梅

清水 せい子
金沢 葭舟
山王堂 正峰
森 澄雄

第2回 テーマ「金沢街道①」

H15.07.03 曇り時々晴れ

10時十二所バス停に集合。光触寺・明王院・報国寺・浄妙寺・鎌倉宮(昼食)・荏柄天神の順に2班に分かれ、鎌倉シルバーボランティアガイド協会会員のガイドの下で廻る。この日は幸い梅雨の晴れ間が時々覗き、北東からの風も吹いて快適な鎌倉寺社巡りの実質的な初日であった。

寺社めぐり集う十二所緋鯉むれ
光触寺塩嘗地蔵花石榴
明王へ飛び火せしごと花萱草（明王院）
風涼し「田楽みち」を竹の寺（報国寺）

浄妙寺方丈おくの桔梗かな
のうぜんに束の間の陽「原節子邸」
杉本寺磴のぼる子へ黒揚羽
土牢へ梅雨の日射しの及びけり（鎌倉宮）
万緑や天神坐像鬼門とか(荏柄天神)

先達(俳人)の当季雑詠

鎌倉に杉本寺や著莪の花	尾崎 迷堂
古絵馬に四万六千日来る	松本 たかし
蛩待つよしある山のたたずまひ（鎌倉宮）	高浜 虚子
窺ふや書院を匿す今年竹	石川 桂郎
紫陽花に万の糸引く雨の朝	古館 曹人

第3回 テーマ「日蓮上人ゆかりの寺」

H15.08.07 晴れ時々曇り

10時鎌倉駅東口集合。常栄寺・妙本寺・本覚寺・大巧寺・辻説法跡・妙隆寺・安国論寺・長勝寺の順に2班にわかれ、鎌倉シルバーボランティアガイド協会のガイドの下に廻る。明日は立秋であるが、沖縄本島を台風10号が直撃して、日盛りには30度を超える真夏日である。このようななか本日は、鎌倉市の南東部小町、大町に集中している日蓮ゆかりの七寺と辻説法の跡を巡った。

けふもまた仏にあひに蟬しぐれ(常栄寺)
木もれ日に水引草やぼた餅寺
ひぐらしや仁天門抜け妙本寺
盂蘭盆の檀家集ひし本覚寺
大巧寺紅蓮一輪咲きそめり
鬼やんま辻説法跡案内せり
酔芙蓉妙隆寺の真昼かな
緑陰の松葉ヶ谷や「安国論」(安国論寺)
日蓮の辻説法像や日の盛り(長勝寺)

先達(俳人)の当季雑詠

鎌倉も奥やひぐらし人に鳴く	久米 三汀
花売に鎌倉道の初あらし	石原 舟月
江の島の往来せまし蟬しぐれ	益田 龍雨
波がしら白きを命秋サーフィン	稲垣 きくの
屋根替の萱吊上ぐる大伽藍（妙本寺）	松本 たかし

月明かき松葉ヶ谷や日蓮忌(安国論寺)	木村 蕪城
出入口一つの洞や蟬時雨	福田 清秋
鎌倉の山に響きて花火かな	高浜 虚子

平成 15 年度 第 3・4・5 回講座の主な感想（アンケート結果より）

①第 3 回学習会「ペリー来航後の金沢の人々」 講師：西川武臣氏

出席者 77 名(71%)

- ・布川日記から、横浜の産業などの近代化が生々しく実感できた。
- ・ハイカラな一人の若者が時代の変化に目覚めていく過程が興味深い。
- ・金沢から見たペリー来航の話は新鮮で興味尽きない。
- ・黒船来航時の金沢の人達の興味・戸惑いなど解りやすかった。
- ・開港が身近に体験できた庶民の開港意識に感心した。

②第 4 回学習会「称名寺の工芸品とその魅力」 講師：向坂卓也氏

出席者 71 名(70%)

- ・展示品を見学する前の解説として最高だった。
- ・講師説明が展示場にてあれば、なお良かった。
- ・内容が多岐に亘り、時間不足は残念。全体をもっと詳しく知りたい。
- ・「西王母図」などの絵画についてもっと知りたい。

③第 5 回学習会 探訪「金沢山から小柴を歩く」 世話役：有志・運営委員

出席者 59 名(57%)

- ・世話役が良く調べて戴き、綿密な計画と案内に感謝します。
- ・天気も良く称名寺の庭もゆっくり眺められた。
- ・称名寺の自然を守った運動や裏山に史跡が数多くある事を知った。
- ・柴漁港や金沢園での会長や店主のお話が大変面白く、感動した。
- ・柴町、漁港、宝蔵院、熊野神社など初めた知った街・寺社でした。

各分科会の今年度の行事日程（下半期） 各分科会より

	寺社を巡る会	古文書を読む会
12月	4日(木) 10:00 集 合 杉本寺バス停 テーマ 鎌倉の紅葉を訪ねる 行 動 獅子舞の谷・瑞泉寺他を歩く	18日(木) 10:00 地方文書・寺社文書読下し 於：金沢公会堂
1月	8日(木) 10:00 集 合 江ノ電 極楽寺駅 テーマ 新田義貞の鎌倉攻め 行 動 極楽寺・成就院他を歩く	15日(木) 10:00 同上 同上
2月	5日(木) 10:00 集 合 JR 鎌倉駅西口 テーマ 鎌倉街道Ⅱ 行 動 寿福寺・若宮大路幕府跡を歩く	未定
3月	4日(木) 10:00 集 合 江ノ電 長谷駅 テーマ 大仏・長谷観音の周辺 行 動 長谷寺・光則寺他を歩く	未定
代表 からの 一言	只今、「金沢寺社巡り」の回想録を会員各位にお届けすべく、皆さんの知恵を借り、取りまとめ中です。いずれ恥じ多き楽屋裏話しをする機会があるかも…。年末年始のビジター参加を歓迎します。皆さん清冽で瑞光溢れる良いお年をお迎え下さい。	会員の皆さんは大変力を付けて参りました。読解力向上のため、更に多くの文書に挑戦する意欲は旺盛です。

<p style="text-align: center;"><u>編 集 後 記</u></p> <p>皆様のご協力により、会報第7号の発行が出来ました。今回は分科会「寺社を巡る会」の会員の皆様より随筆と俳句の寄稿をいただきました。多くの方々からの寄稿を厚く感謝します。今後とも皆様方のご参加とご協力を切にお願いいたします。</p>	発行日	平成15年11月8日
	発行	金沢区生涯学習“わ”の会
	編集責任者	<p>小 岩 克 介</p> <p>〒236-0005</p> <p>横市金沢区並木 3-3-2-103</p> <p>Tel/Fax 045-783-0474</p>